



尾道の会  
まきはた しんいち  
巻幡 伸一



## 市長の政治姿勢

**議員** 多様な行政サービスに対する需要や医療介護等の社会保障、子育て支援、地域交通の維持、地元経済の振興など山積する様々な課題にどのように対応されるか。

**市長** まずは新型コロナの感染拡大防止と社会経済活動の回復に向けて「チーム尾道」で取り組む。尾道市総合計画や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本に先端技術や民間活力を生かして「尾道オリジナル」のまちづくりに挑戦する。

## 活力ある産業が育つまち

**議員** 儲かる農業を拡大させることが担い手を増やす。ネットワークを広げ、尾道産品を全国へ爆発的に売り込むような仕掛けはあるか。

**市長** 「尾道ブランド農作物認証事業」で、

生産から流通の活動を支援し、わけぎ部会では6組の新規就農実績をあげた。販路開拓では姉妹都市と連携して相互に産品をPRし、中小企業支援事業で国内と海外への出店を促すなど、全国的な認知度向上と販売促進に取り組む。

## 活発な交流と賑わいのあるまち

**議員** 過去5年間で人口は7,456人減少し、比例して子供の出生数は30%、婚姻数は36%減少している。若い世代の定住が課題であるが、結婚祝金、家賃や住宅取得にかかる費用、引越費用等を支援すべきではないか。

**市長** 平成28年から、子育て世代包括支援事業など延べ98事業で約37億円支出している。令和4年度には「マリッジサポート事業」、「子ども医療費助成事業の拡充」などで粘り強く取り組みを進めていく。

一般質問を終えて…

そのほかに、「モノづくり産業の設備と人材」、「鳥獣被害の防止」、「スマートシティの推進」、「小・中学校の学力テスト」、「南海トラフ地震への備え」などについて質問しました。



公明党・木曜会  
(※現在は「公明党」に所属)  
ふくはら けんじ  
福原 謙二



## ご当地ナンバーの導入

**議員** 国土交通省は、地域振興や観光振興に活用する観点から、地域の要望に応じて地域名を定める「ご当地ナンバー」導入の取り組みを進めてきた。「ご当地ナンバー」の導入要件が緩和され、本市も導入を進めるべきと考えるが、考えを伺う。

**市長** 本市の魅力为全国に発信するメリットもある。関係団体と連携を図りながら、挑戦していきたい。

## ワクチン優先接種対象者

**議員** 医療従事者、高齢者に次いで、新型コロナワクチン優先接種の対象となっている介護従事者は当初、施設職員のみが対象となっていたが、在宅・訪問サービスの介護士も、厚生労働省の通達により各自治体の判断で一般の人より早く接種できるように改められた。本市では

3回目の接種において在宅・訪問サービスの方などが新たに優先接種の対象となったのかを伺う。

**市長** 入所施設等の従事者を対象に優先接種の調整をし、その次に、在宅・訪問サービス等の訪問系・通所系を問わず全従事者の調整をしていたが、国の前倒しの方針が続けて発出されたため他の対象者と一緒になった。現在、当該従事者の方は優先対象になっている。

## 成人年齢の引き下げに対する捉え方

**議員** 成人年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が成立し、2022年4月1日から施行されることとなった。少子高齢化が急速に進む中、成人年齢の引き下げは、若者の社会参加の時期を早め、大人としての自覚を高める意義があるものと思う。本市として18歳新成人をどのように捉え、生かしていくのかを伺う。

**市長** 18歳、19歳の方の自己決定権が尊重され、未来を担う若者の自立と積極的な社会参加が促進され、社会に大きな活力がもたらされることを期待している。



青嵐会  
みやち ひろゆき  
宮地 寛行



## 「子育てするなら尾道」の看板を外せ！

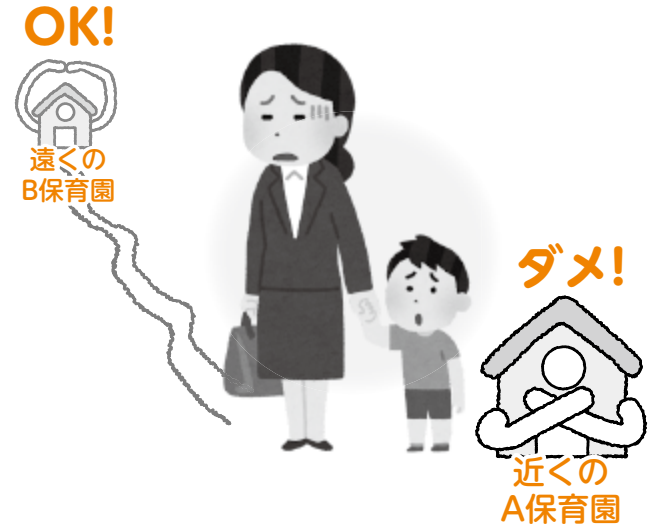
**議員** 「休日以外毎日働いているのに子どもが保育園に入れない。」「下の子は入園できたのに2歳児の子が入れない。」「雇い主に無理を言って1年間子どもを連れて働いた。しかし、今年も入園できませんでした…。」

2年連続で4月の入園を断られたかわいそうな保護者がいる。よくもまあこれで「子育てするなら尾道」と言えるもんだなあとは僕をあきれている。働いている保護者が、4月の段階で子どもを預けられない、第1希望の保育園やこども園に入れない。こんな状況を生むのであれば「子育てするなら尾道」の看板を外していただけないだろうか。

**市長** 年度や施設ごとにより入所希望者が変動し、需要の偏りも生じており、希望する施設への入所がかなわず、不自由をおかけしている事案があることも承知している。そうした場

合、第2希望の施設を含め調整させていただいているところである。

**議員** 東京都や横浜市のように子どもがどんどん増えているような大都会ならともかく、少子化で子どもがどんどん減っている尾道市において、4月の段階で保護者が望む近隣の第1希望に入れられないのはおかしい。兄弟や姉妹で別々の保育園を薦めたり、自宅から何キロも離れている保育園を薦めたりして、どこが子育ての支援になっているのか。逆に子育ての負担だと思ふ。



を少しでも減少させることに繋がると思うがいかがだろうか。

**市長** 遊水池の浚渫については、近年、激甚化、頻発化する災害において、遊水池が果たす役割やその維持管理にかかる調査・点検の必要性は十分認識しているところである。遊水池の浚渫は、防災・減災対策として大変有効であると捉えており、短期間で効果が発揮できるよう現地調査を行い、優先度の高い箇所から順次、実施しているところである。

また、農林業施設の維持管理については、市が行うパトロール業務や受益者の皆様に日常的な点検等をご協力いただく中で、市内で幅広く修繕を行っている。

災害復旧についても、複数の復旧箇所を一つの工事にまとめて発注するなど、早期の復旧・復興に取り組んでいるところである。

今後も引き続き、農林業生産の基盤となる施設の維持管理に努め、地域住民の安全、安心の確保につなげていく。



志誠会  
よしだ ひさのり  
吉田 尚徳



## 「活力ある産業が育つまち」

**議員** 総体説明において、市長は「活力ある産業が育つまち」を打ち出し、農林業関係において、「農地や水路の保全に向けた小規模農業基盤整備事業、農道・排水路等の改修事業や遊水池の浚渫に継続して取り組み、中山間地域から島しょ部まで防災機能を含め、持続可能で質の高い営農環境の整備に取り組んでまいります」と話された。

次の災害がいつ来るかわからない中においては、遊水池の浚渫や農道、林道の盛土の点検、崩れた箇所の修繕を早期に行うことが必要である。また、浚渫を少しずつ行うのではなく、思い切って広範囲で行ったらどうかと考える。

地球温暖化の影響で毎年水害が起きている中、災害が起きてから補修するのではなく、起きないように対策をし、道路やその他遊水池の検査をしっかりと行っていただきたい。そうすることが災害

総体質問とは、各会派の代表者が新年度予算とそれに関連した施政方針に対して執行機関（市長など）に質すことです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくことと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることが出来ます。





平成会  
よしわ ひろし  
吉和 宏



## 今後の地域公共交通をどう考えるか

**議員** 地域公共交通の利用者は、通学生や運転免許を自主返納された方も含む高齢者、障がい者の方々などであり、「活発な交流と賑わいのあるまち」のために必要と考えるなら、そのための支出は地域を支えるための支出と捉える必要があると考えるがどうか。

**市長** 地域公共交通は、誰もが安心して移動できる手段にとどまらず、観光、健康、福祉などまちづくり全般の課題解決につながるものと認識しており、公共交通が地域の暮らしを支えているという観点から、国、県、市において交通事業者を財政支援している。

## 市民病院と公立みつぎ総合病院の存在意義と果たすべき役割

**議員** 人口減少や少子高齢化などの環境変化の中で、また収束の見通しが立たないコ

ロナ禍にあって、地域医療の最後の砦といわれる地方の公立病院の果たすべき使命は極めて大きいと考える。市民病院、公立みつぎ総合病院の存在意義や果たすべき役割をどう考えるか。

**病院事業者** 両病院には、医療圏域および急性期医療や地域のかかりつけ医としての役割など機能面での違いがあるが、引き続き、地域の中核病院として市民の皆様の安全・安心のため、必要な医療・看護を提供するという根幹の役割は維持しなければならないと考えている。

## 子どもの体力低下に対する対策

**議員** 子どもの体力が、コロナ禍の影響でさらに低下したことがスポーツ庁の調査結果で分かった。体力の低下は、精神面や学力にも悪影響が表れると指摘されている。家庭の理解を求めるとともに幼児期から体を動かして遊ぶ習慣の形成に取り組むことが必要だがどう考えるか。

**教育長** 各小・中学校で、工夫した取り組みを行っている。幼児教育においては、遊び自体が体力の向上に結び付くものと捉え、取り組みを推進している。今後はICTを活用しながら、保護者や地域を巻き込んだ取り組みを推進する。



市民連合  
だんじょう まさみつ  
檀上 正光



## デジタル化、公共施設の脱炭素化、消防防災力の強化へ

**議員** 国が地方に示した3つの重要課題「デジタル化、公共施設の脱炭素化、消防防災力強化」で、尾道市における取り組みは。

**市長** デジタル人材の育成や子育て・介護等の手続きのオンライン化、企業のデジタル技術の活用を促す支援事業、公立の保育施設や教育施設での保護者連絡システム運用等に取り組む。公共施設照明をLED化し、公用車を次世代自動車へ更新することで脱炭素化を目指す。消防車・消防団器具庫を更新し、装備品を充実させるほか、遊水池の浚渫、樋門の改修、排水ポンプの整備等に取り組み、防災力の強化を図る。

## 旧三井住友銀行尾道支店を『まちなか文化交流施設』に

**議員** 「旧三井住友銀行尾道支店を保存改修

し、商店街などの賑わい創出に向け取り組む」としているがこの建物の改修方法と付近一帯をどのように整備し、活用するのか。

**市長** 内部から耐震改修工事を行い、各設備を更新する。多目的ホールの改修等で尾道市立大学の創作活動や、多様な方々が交流する多目的施設として活用する。この施設が加わり、既存の尾道商業会議所記念館と共に付近の広場などでも多彩なイベントができることとなり、文化芸術発信拠点の一つとなる。

## 農業の労働力不足にドローン活用、ICT技術でイノシシ対策

**議員** 農業従事者の高齢化、担い手・後継者不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣被害や災害の多発などで農業を取り巻く状況は厳しくなる一方だ。農業振興ビジョンの中間検証・見直しにおける重点課題は何か。

**市長** 農業振興ビジョンの中間検証では「労働力不足」を重点課題とする分析と評価を行い、ドローンを活用したスマート農業の普及やICT技術を活用したイノシシ対策に取り組む。



日本共産党  
おかのながとし  
岡野 長寿



## 「敵基地攻撃能力の保有」発言の撤回を求めよ

**議員** 戦争の放棄、交戦権を否定した憲法に抵触する発言の撤回を求めるべきでは。

**市長** そういう立場にない。

**議員** 戦争はいつも自衛権の行使という理由で始まる。相手が危険だから攻撃するのではプーチン大統領と同じだ。懸念を表明せよ。

## しまなみ海道の「生活割引」(平日料金軽減)実現へ

**議員** 市議会は意見書を国に送付した。市長は地元国会議員に要請したか。

**市長** 適切な時期に現料金制度の継続と更なる負担軽減を訴える。現在福祉施策として、「妊婦健康診査等交通費助成」、「障がい児通所支援利用者負担金助成」、「じん臓機能障がい者通院費助成」により交通費の支援を行っている。

「精神障がい者の通院交通費補助制度」は今後研究する。

## 「結婚スタート住宅制度」の提案

**議員** 若者の定住対策で、市営住宅の整備に加え空き家などを新婚家庭用に改修し、安価な賃料で新婚生活をスタートできる制度を検討すべきではないか。

**市長** 平成30年度から購入費用の一部を助成する「子育て世帯等住宅取得支援事業」を実施しており、新たな制度を導入する予定はない。

## 下水道使用料値上げ案を撤回せよ

**議員** コロナ禍に加え、食料品、ガソリンなど生活必需品が値上げされている。ライフラインの下水道使用料値上げ案は撤回せよ。

**市長** 公営企業会計は独立採算でやる。基準外繰り入れに頼らない経営体質を構築したい。

**議員** 県内多くの自治体が値上げしないよう繰り入れを行っている。

## 議会人事

杉原孝一郎議員が3月9日に辞職願を提出し、採決の結果許可することとなりました。

また、4月1日付で公明党・木曜会が公明党と木曜会に分かれたこと、尾道の会の代表が佐藤志行議員から巻幡伸一議員に交代したことなどにより、会派構成は次のように変更しています。

尾道の会	青嵐会	公明党	平成会
代表 巻幡伸一 会計 前田孝人 藤本友行 佐藤志行 飯田照男 新田賢慈	会長 宮地寛行 幹事長 山根信行 会計 村上隆一 高本訓司	代表 福原謙二 幹事長 加納康平 会計 岡村隆	会長 吉和宏 兼会計 柿本和彦 二宮仁
志誠会	木曜会	日本共産党	市民連合
会長 吉田尚徳 幹事長 宇根本茂 会計 岡野斉也	会長 星野光男 幹事長 大本和英 会計 岡田広美	議員団長 岡野長寿 会計 三浦徹	代表者 檀上正光 会計 山戸重治

## 政治倫理審査会報告

令和元年の参議院議員選挙における大規模買収事件に関わり、杉原孝一郎議員が議会に対し食い違う説明をしたことを審査する目的で設置された政治倫理審査会は、本人の辞職をもって対象議員が不在となったため、やむなく審査終了となることの報告がありました。